

NO 162

非暴力直接行動

発行 WRI(ウリ) 水田ふさ&向井寿。大塚市あべのまち1-6,1-1307 Tel.06-647-4089



セイダイ華の乱

「毎日がチャンス」

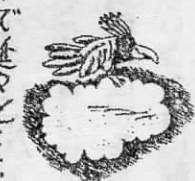
今日くも 君子ハ豹変ス

● ほんまに、こんどばかりは、マスコミ(ーいうても新聞とってないのでテレビだけやけど)の「三日目の豹変」には、たゞたゞアッと云うばかりやった。

■ いやー、エエかげんというか、無節操というか、アッパレなもんや。

● 7日は、テレビを朝の頃からつけっぱなしにして、(途中外出のち時間ほどを除いて)あちこちチャンネル変えてみたけど、もう、どこもかもみな同じ、その徹底ぶりはスサマジイとしが云いようがないもんやった。

■ もう何耳もかかっているかいまかと待ったもんやから、アサマシイほどあの手にこの手で延々と...



● 8日は、夜8時ごろ帰ってきてからのテレビやけど、ちよっとつけてみて「あ、まだヤ」でパキン。もうウンザリの食傷で腹がたつ。

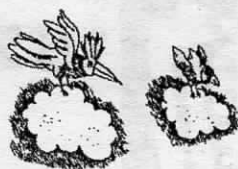
■ 「視聴者をバカにしてるんか。エエかげんにせんかい」と電話したら、テレビ局はしどろもどろ。「お笑い番組などは3日まで中止の予定にしております」

● ところが9日のおひる、スイッチ入れたら、女の子たちとよめいて、キャーと笑う声。エーッとエライなつかしい気がした。

■ そうやるな。死んだという瞬間から二日間、ヒロヒトのコマーシャル一色だったんやもん。なんぼ手をかえ品をかえても、見なくなるのは当り前や。

● で、テレビは3日目からコロツと番組がひっくりかえったという感じ。

あれだけヘイカ、ヘイカゆうてたんやから、せめて番組のはじめに「エー、このたびはご愁傷さまで」ぐらいは云うたりんか、と思うぐらい突然の白、ぱくれぱり。



■ ハッハッハッハ。

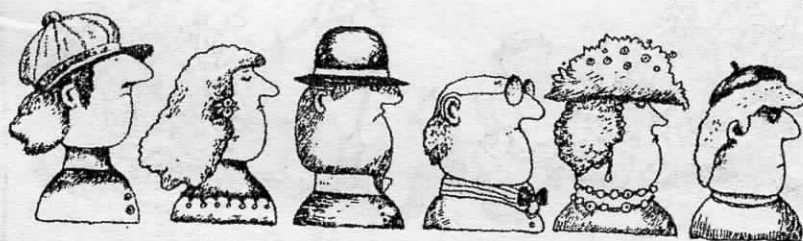
● というのは、この2日間で抗議電話が殺倒して、テレビ局や新聞社は大あわて。3日目から、とうとうまずは平生通りという方針に転換したらしいねん。

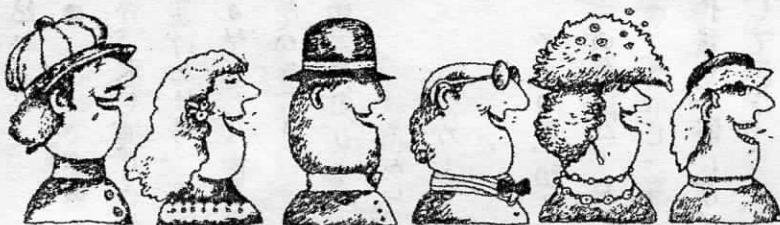
■ その変り身の早さ、定見のなさもおどろきやけど、それがマスコミとしては当りまえのことやねんな。

● 権力の体質は戦前戦後ずーと変わんとしても、世の中の方はだいぶ変わってきてる。

■ それにしても、アホやアホやと文化人、評論家にテレビ討論でバカにされてる庶民のアホのま、とつさにこんどばかりは感心したワ。さすが庶民や。西部ナントカの頼がみたい。

● 誰がゆうたか忘れたけど、ひのえ馬の耳に生まれた娘は嫁のもらい手がないという迷信があって、科字が榮達した現代でも昭和40何年とかは女の子





の出生率がぐんと少ないんやて。ひのえ馬いうのは60耳に一回やから、じゃあ迷信がもつと根深かったはずの明治何年かのひのえ馬の耳の女の子の出生率はーとしらべたら、

たしかに少いけど、現在ほどのもんやない。

それはどういふことかと調べるうちに、犯人は「マスコミ」やということになった。つまり、明治にはまだなかった、たぐさんの週刊紙とか婦人雑誌とかが、あらゆるひのえ馬特集をやつとるわけや。その影響で昔よりも今の方によけいひのえ馬迷信が強くあらわれてしまったという……

■ わかった。それで「天皇制はマスコミがつくりだす」ということなんやろ。

● あの9月19日以降のヒロヒト重態報道のとき、うちは胃ガンの手術

して向もなしで、鼻にクダがついてるし、声もよおださん、歩くのもやつとやったけど、同室の人らは、みんな「容態」をかたずをのんで見守ってるちゆうふうやった。

やっぱり「メデー」は戒厳令やなーという雰囲気やたもん。

■ あのころ自転車置場においとったふう子さんの自転車「盗難」にあうし、ぼく用の一台はパンクしてる。修繕したらまた一夜でパンク。計四回パンクがつづいて置場をかえてやつとおわった。だけどそのあげくが、東京で号外新聞を誰かが「マンション」の郵便うけに入れたのが「建造物不法侵入」、その新聞をつくったから「共犯やいうて、また「ガサ」がきた。

● この10耳の向に、ガサが5回あったけど、そのうち天皇をパロツたステッカーやビラや新聞でいうのが3回。

■ 「不敬罪」は法律上はなくなってるけど、警察の取締りではハッキリと残ってる。

■ 「天皇制さわってみればよく判る」で、天ちゃんにほんのちよ、ぴりでも何かしたらまずガサがくる。

一家の誰かが大阪近くへ来るともうビツタリ尾行と張り



込み。

● これで本番のメデーともなつたら一体どうなるのやろか。水も凍らせぬ厳戒態制で、とてもビラ一枚まかせぬ、まけぬやろ……と鬼うた。

● そしたら世の中一ぺんに息をひそめての自粛さわぎや。そのすごさ。

■ それが一

秘ふかし 死ぬに死なれず 五十一日

穴かしこ 下下下の下血 菊の紋

—— よみ人知らず

で、10日、20日、1ヵ月たつてもなかなか死なへん。さすがの自粛ムードもす、かりだしてくる。

● それと、あっちこっちで思いもかけん反天皇のうごきや集り、催しが、しかもおおびらにいくつもあらわれ出てきた。

■ これにはほくも目をスツクなア。

ヒロヒトはんが最後に「百日向、延命の刑」で、せめてもと、罪ほろぼしをしはうたんやろ。

昭和のサングロウ目

■ で、いよいよのワ日。ボクは朝の6時まで原稿書きで起きとった。寝て二時間ほどした9時すぎに毎日放送から電話がかかってきて、「今日何が予定は？」。そんな「エッ?! ヒロヒト死んだ?」「いや別になんもないわ」と云うしかない。

● 天皇が死んだ日は、午後5時半中之島野音に集ってビラまきという、うねりの会(反天皇制のうねりを、関西連帯の会)の申合せやけど、何しろ当日やからあんまし人が集ってへんかったら悪いし」と出かけたら……

■ タラ時半すぎに遊屋橋に着いて、地下階段を昇って橋のたもとに出ると、いきなりワアと、もうビラまき隊のトンネルや。そこをくぐると、三百人ぐらいの人が市役所まえの路上に集まっていた。

● それがなんがすごい熱気やったよね。ビラまき隊のほかは、ただそこに集ってたむろしてるだけやのに、みんなの気迫みたいなもんがヒシヒシと伝わってくるというかい。うんうん。

● 警察は割合おとなしかったね。「じらまきは道交法違反だ、トカナントカ」いうけど、排除するんやなく邪魔してるかんじでモメてるだけ。

一方私らが鉦やタイコを鳴らして歌をうたい出したら「ワ」とまたけど、敬らしにかかってきたーというところで逮捕する気はなさそうやった。

■ 天ちゃんがおなくなりになったこの厳粛であるべき日に、さわぎや事件をおこすと権威に傷がつくちゃうわけなんやろ。



■ 風子さん、病氣養生の身、やのに、すぐでしやばるやろ。ハラハラするわ。マイクまで持ってやりだそうとするんやから…。

● うちもい用はじめ、関電に行つて、ちよつとおしくらまんじゅうしたとたん、下血、してしもたから、これはアカンもお当分うちでおとなしく、自

粛々しますゆうて宣言したてまえ、どおしようかなあ、と思つたんやけど、でも、みんな黙ってるからうたでもうたおうよ、とついゆうてしもたんで、うちや、ぱし好きなんや、寂にいるよりずっと元気できるもん。

元号まつ平成・8日

■ 次の日、5時半に中の島に集まるいうてた申合せは変更して、丁度予定してた西成でやる午台1時からのデモにみんな合流しようということになった。

で、この調子やったら明日のデモは大丈夫や。ようけるから、風子さんがムリして行かんでも、と思つたけど、でも、メデーの翌日にデモがやれるなんてのは、日本中であつた大阪だけやし、そうめつたに経験できるもんやない。ただ歩くだけなんやし、運動にもなるんやから…。

■ 雑草舎が、「なかなか死ねへん。みんな待ちくたびれてたてきとる。ここらで一発デモでもしよ」云つて、去

耳からデモ申請しとったのが大当り。
● ほんまに大当り、や、ぱし行つてよかったで。
■ 集合場所、カマの三角公園がいっぱいやつた。でも集

会のときは千人なんていなかったよ。せいぜい四五百や
と思っただけ……

それがデモの途中からどんどん人がふえていった。私ら
隊列の大体前より歩いてたんだけど、途中ふりむいてあ
った。後がワァーとつづいてるんやもん。

■ デモコースがよかった。日本橋から千日前いうたらふ
だんでも賑やかやのに、すごい名残り正月の人出で、道路
の両側の歩道は満員。

なにかなあと、めずらしそうに、みな立ち止って行進
するデモ隊をながめてるってかんじが、ぞろぞろついて動
きだした。

■ デモ隊がなんぼ規制されても隊列つくらずのばらばら
な上に、歩道の人もいっしょに行進してるみたいでスゴイ
流れや。

● わかしべ平連のデモなんかで、「いっしょに歩こう」
なんて、よく呼びかけてたけど、なかなか歩く人はおれへ
んかった。

■ ところが8日は呼びかけをしたわけやないのに、人が
どんどん入ってきたもね。

● 途中なんべんも道いっぱいの、しぜんにフランスデモ
になったやろ。フランスデモなんてベトナム反戦以来や。

■ それから、いつもやたらデモ解散地点の五百メー
ルほどもまえ高島屋前を右横に折れた陸橋下でひとしきりジ
グザグザたりして壁面もみあうーというせしめニ
ー？があるんやけど、あの日は、壁面が待ちがまえていな
い一つ手前の千人前筋と御堂筋の大交差点で、数百人がワ
ァーとひろがって竜が踊り狂い、カネやタイコをうちなら
して、みな思い思いのパフォーマンスで、行進がしばらく
ストップしてしまった。

● 私もおもわず踊り出して
おいちゃんに引きもどされ
てしまった。

■ キ動隊のトランス

シーバーが、「もう収拾
がつきません」なんて、
絶叫しては、たもん。

■ 古い話やけど、60年
アンポでも70年のベトナム



反戦のときでも、御堂筋デモやると、デモ隊がジグザグや
って(キ)とぶつかるというのがきまっていた。それはワザと
(キ)がその警備をきうすにしく。デモ隊がそれに誘わ
れてジグザグやり出す。頃合よしと横丁にかくれてた(キ)が
どおっと出てきて、どうや「懲りたか」とばかりメチャメ
チャに制圧する。またばーっと横丁へかくれる。

と、また百メートルほどおの次の隊列がやられるーと
いうくりがえし。それわかってるのに、どうしようもなれ

へん。

次の辻でやったら(キ)が空振りす
るんやけど、丁度そこが気分的
にも牛面で、やる気になっ
てしまふんやな。

■ その待ちかまえてるところが
いまは高島屋布子コの陸橋下の
交差路いうわけか。

■ そこを通りすぎたら、あと
は解散するまで、トラブルがな
いと向うもこっちも思っ
てて、



どちらもそろそろ帰り仕度になる。

● 警察が待ちかまえてるようなところであばれるより
おらんとこで不意をつくのが作戦やろ。

先頭でうまいことリードした「竜」の作戦勝ち！
ドラゴン

■ あのとこ、竜はすごいデモの力になったね。

歴史はデモでじまっ

■ それとこんどはいつものデモとはハッキリなかが違
ってたと思えへんか。

● うん、この時期、反天皇のデモなんかしたら右翼が襲
ってくるんとかうやろか、とか警察の取り締りもいつも
よりはキツイやろ、とか思うやん。そやさかいに、よけい
にどうしても今日は行かんなんやんというハリキッた
気分がみんなにあって、一人一人がデモをつくっていた。

■ それもあるけど、もうひとつ、デモの質がへた分みん
な「今日はおもしろかったナ」ぐらいで気付いてないやろ
けど、70年代や、2日前一ぱんや、たうねりの会の御堂筋
デモと大分ちがってたいうこと。

● というとー

■ うんと少数やけど、「虹の会」がーと傾やってたような
さわがしさ・にぎやかさ・でたらめさ・多様さ・もっとい
うたら、このごろの「反原発」がやり出したデモの気分に
似てきてる。

● 反原発の女たちの顔は少なかったみたいやけど、運動
いうのは、いろんなとこへ飛火するんやな。課題はちごと
もみんな同じなんや。

■ 反原発のデモのおもしろさ・楽しさと通ずる解放性が
8日のデモにはしっかり表現されてた。

● それが、デモを観た何万も、としたら十何万という
人にしっかり伝わった。

■ あれ?! こんなに楽しそうに、こんなに元気よく、大
ぴらに、天皇なんかいらんねん云うてる人がぎょうさんい
てる。ほんまやほんまやというわけで、そんで自然に思
わずいっしょに歩き出したんや。

■ このデモのことはしっかり評価して、これからのやり
方に役立たさんとアカン。

二・三思いつくことで云うたらー

① デモの呼びかけで音の出るもん持ってこいとあった
や。あれ反原発では当り前になってるけど大事なこ
とや。一見小さなことやけど、このことひとつだけでも、

デモの体質が大きく
変わる。

② それから「獅子
」というか「龍」の
「存在」と「動き」
の役割。ぶつうは先
頭が中間から隊列の
中に入っってしまう
やけど、はいったり
出たり独自の動きも
あって自由自在。へ
出っぱなしとか入り
っぱなしでないのが
エエ。それがデモ
の隊列にも変化と刺激と動きを与え、活気をふきこん
だ。特に、千日前と御堂筋の大交又では、デモの先頭で
ぐるぐるまわってリードしたのは印象的。動きが抜群やっ
た。





天皇制反対へ 千人パレード

大阪・西成の労働者ら
大阪市西成区のあいりん地区
(釜ヶ崎一帯)に住む日雇い労



働者や朝鮮系労働者、在日韓国・朝鮮、中国人らでつくる天皇制の強化を許さない西成区民の会「主催の「天皇はいらん西成パレード」が八日午後一時から、あいりん地区の公園から難波までの約四キロで行われた。完全武装した機動隊や私服警官約二百人と時折衝突したが、賛同する市民も加わって参加者は約千人(主催者発表)にふくれあがった。

参加者は「天皇制解体」「戦犯ヒロヒト糾弾」などのゼッケンをつけ、段ボール箱でつくった張り子の竜やむしる旗も登場した。「元号いらん」「自衛隊反対」のシュプレヒコールに続いて、「新天皇は普通のおっちゃんになれ」などと繰り返した。出発後間もなく、交差点を曲がる際に、参加者と機動隊の間で激しくもみ合った。ジュラルミン製盾とプラカードが音を立ててぶつかった。電器店が並ぶ日本橋の通りでは、買物物の市民が「わしも行く」「おもしろいなあ」と次々と飛び入りした。千日前の交差点を曲がるころには車道いっぱいにはみ出し、規制しようとした機動隊と衝突、機動隊の指揮者が「乱暴者は全員検挙するぞ」と絶叫する場面もあった。

朝日新聞 1/4

通してみたいな、それが見もの、見物人あつめができる。そこで「デモ」の定義をひとつ——「デモは何よりもみんなに見せるものである。」

③ もひとつは、こんどの「デモ」をみてわかるように、結果的には、きりした指揮がなかったことがあってよかった。全体をみわたして情報を伝達する人は、効分いるけど、「デモ」指揮が統制者になったらアカンということ。今までのやり方では、統制のとれたが、しりした隊伍をつくらした「デモ」がエエとされてるけど、その是非論は別にして、ともかく今の状況では、それではアカンということが、は、きりしてる。「デモ」に集ってくるのは殆ど有志個人なんやから、その個的行動の総合としての「デモ」のかたちを、いまここで新しくつくり出す意味でも、8日の「デモ」をもっと追及することが必要やろ。

さしうめ2月24日に予定してる、うねりの会の「デモ」がエエチャンスや。

● もひとつ、チャンスというたら、ほんまに「タイミング」が何より大切やな。

8日の「デモ」は、まさに絶好のタイミングや。あれ偶然みたいやけど、やっぱし、申請してたら当たったんで、ふだんの待





機（はた）の姿勢と無関係やない。これは雑草舎の田畑の力が出てきたんやと拍手せなな。

■ まあ、それにしても、Xデーにこんな素晴らしいデモができたなんて、ほんまに夢にも思ってもみんことや、た。これだけは目をスッたなア。

三日目の通せん

■ さて三日目は、うねりの会の一日目二日目のあとをうけて、午後6時に中の島公園公会堂前に集って、サナとサカナでおセニコをあげて、昭和サイナラセシモニーをやるうとはじめ通知してたけど、かんじんの風船は（前号既報）もう飛ばしてしましたし、気分は気のぬけたビールや。

けど、ぼくらが呼びかけてるんで、ひよっと来る人あるかもしれんから、ともかく出かけてみんわけにはいかへん！というわけや。

● うちが8日のデモも3時間も歩いたやろ。さすがに帰っ

たらすぐバツタンとねてしもた。9日の夜は、三日連ちゃん（さん）でしんどいなと思たけど、ひよっとしたらおいちゃんだけか、二三人位かもしれんと思うと、やっぱりいかんわけにいかんもんな。

■ で、一什（じ）ビンとサカナ、それから6月9日天皇訪沖のときまきでこねたミニビラ一万枚を、太田くんがまてくれたのでかついでもらって、またまた中の島へ。

● ま、ちく10人きたらええとこやると思、とったら、はじめは4人だけ。雨がだんだん本降りになる。

木の蔭で今として、ベンチに酒サカナならべて、誰かまだけえへんかいなアとまわりをみまわすと、あ、ちに3人、こっちに5人、と公会堂の庇の下に4人、数えると20人ぐらいが遠く近くとりまいて、やっぱり今としてこっちをみてる。時々二人ずれで通行人みだいにそばを通過して何してるんやろとみていくんや。

そんでBさんがバー？の呼び込みよろしく、「エーいらっしやいらっしやい。本日はヒロキちゃんのおごりで一パイにおさがなつきの大サーブス。ハイハイ、お二人さんごあんない」とん狂な声がだんだん調子がのってくる。

ま、四人ではじめよか、と通もりをやり出してたのが、だんだんふえて、教かぞえたらいつのまにやら34人も。

で、一パイ飲みながら『私のTENNO宣言』を順番に一声ずつ。

▼「死んだときいてじつとしておれんので、なんか集会でもないかと、放送局に電話したら、毎日5時半中の島であるとおしえてもらった。初日はおくれて8時すぎにきたけど、もう誰もおらへん。きのうも5時半にきたけどダメ。今日やっとみなさんにあえました」この係入さんにみんな拍手。

▼それから公園をめぐらして40代ぐらいのおっちゃん。近くに立っては、たんで一しよと声かけたらずーっとだま。て固いていて最後に私にもひとこと云わせて下さいゆうて、「昭和は20年で終わっているべきでした」のひとことが印象的でシーンとした。

▼そのほか、俣原さんとは、娘が通ってる小学校に、たった一人で服喪行事をせんにように申入れに行、てきたゆうてたし、このまえから反原葬やりだしたFさんとこも、小学校長に日の丸の右旗を掲揚するないう申し入れ書をワ

iproで打って渡してきたらしい。

▼また高校につとめてるAさんは、揚、てる半旗をおろしたら校長はだまってみてたとか。

▼娘が豊中の小学校へ行、てるいうグループは、みんなです、そく学校に行、て申し入れをしてきたゆうてた。

みんなそれぞれ、一人でも行動をおこしてるんよねえ。

●最後は、雨がずつとふってるんで、持、てきたビラは二百枚ぐらいつみんなにわけて、帰、りでも明日でも、駅や地下道、電話ボックスでバラバラまいて、みんなに踏んずけてもらうことにして解散したんやけど、私服さん連中、長いこと今さして待、てはったのに、なあんや一パイのんだずかとかッカリ？して？

特別報道態勢はやむを得なかった

NHK島副会長

NHKの島桂次副会長は十一日の記者会見で、七、八の両日、天皇関係の特別報道態勢を敷いたことに触れ「民放を含め二日間、天皇関係の番組で埋め尽くしたのはやむを得なかった。まあまあ線だったと思う」と語った。

特別編成の期間が二日間となつたことについては、約一万八千件に上った視聴者からの電話による苦情や注文を「重要な要因として考えた」ことを明らかにした。

来月二十四日の「大喪の礼」当日の対応については「中継などはするが、他の番組をすべてつぶすことは考えていない」と述べた。

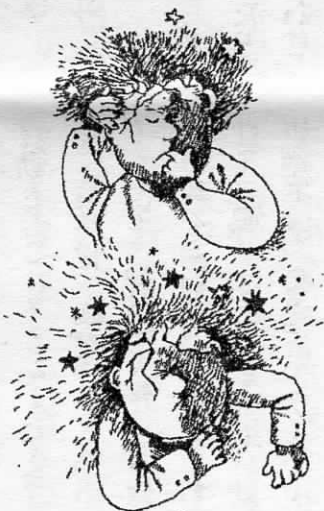
気がついたらおらんようになって、尾行もないようやった。
 ■ それにしてもメデーの三日間に見出し、経験したこと、これはやっぱり戦前やったとしても考えられんことや。いや、戦後四十一年でも、やっぱり経験してみなわからん予想を超えたことやった。

天皇制 みんなでつばせばコワクない

● メデーというのは「国家権力」によって、体制秩序の整備強化のための「絶好の機会」と、ここ教壇ずーっと云われ思われてきたんやけど……

■ ところが、マスコミが騒げば騒ぐほど、国民の中にシラケがひろがる——というところまでは、ほとんど誰も見逃してなかった？

● ごく一部の天皇主義者や右翼が、心から「ヘイカをお慕い申上げて」いるかしらんけど、大部分の一般人は、今日この頃の状況のなかで、「たたり」にあたらんよう、まわりの頼付きをみて、自分も同じ頼付きをする——というの



が、世渡りの手エというか身すぎ世すぎのやり方で、そんなことどうでもエエねんという本音が、こんどのことでホンマにようわかった。

■ 「となりの人」が「たたり」をおそれてない——ということがわかったら、みな手の平かえしたように態度がかわる。

■ まあ、手の平かえすというほどロコツやないけど、黙ってたんがワイワイしやべり出す——というふうなムードに大変化が出てきたんが、9月の自決さわぎ以来から、こんどのメデー

の三日間やな。

● 誰が最初の「となりの人」になるかやけど、8日のデモなんか、その意味で、ごっつ大きな役割りを果たしたと思っ。それから電話で「いいかげんにせえよ」とテレビや新聞に文句いった何十何万という人たちの存在が明らかになったということが大きい。

■ そうや、これはほんまにエライこっちゃで。日本国はじまって以来なかったことやから…。

そのとき「たたり」をおそれなくなった、その「何千何万」という電話をかけた人たちの存在」いうのは、「歴史」にしっかりとかきとめとかなアカン。

● その「たたり」やねんけど…

■ いま、天皇を風刺したり批判するというのは、もちろん憲法の「表現の自由」で、大っぴらに認められてるんやけど、一般の感覚でいうたら、「せらやっぱし、ちよっと…」とことばがとまるやろ…

● つまり「なんかヤバイ」…

■ うん。みんなの心のなかのどこかに、情況や雰囲気をつくられた「戦前の感覚」があるのと、それにつけてこんで警察と右翼がウロチヨロして「ヤバイ」を神覚する。

● このまえテレビ討論で、小中陽太郎が、「子供がいたりすると、やっぱりほんとのこと云えないですよ、こわくて」とゆうてたけど、こわいから口をつむぐというのは、ふだん革新的なことゆうても、みんないっしょやいうことやな。

■ 「さわらぬ神にたたりなし」で、「たたり」がこわいねん。

● うちらが「天皇制」さわってみればよくわかる「ゆうて、じうとか新聞とかでちよっかい出し続けてきたんは、天皇にさわったらどんな「たたり」がくるか」ということをはつきりさそと思っただからやもんね。

■ たたりは、まあ「ガサ」ということでちよっとあったけど、しかし、「正体みたり枯尾花」で、まるでたいしたことはいねん。

● せやから、誰でも、もっとどんどんさわってみようーと…

● たたり信仰は、みんながたたりをおそれなくなったら、なりたないもんね。

■ ところがそうはなかなかいなかった。

こと天ちゃんとなると警察はもちろんやけど、仲間からも市民運動というワケからだいぶん飛びだしてる。ちよっと過激や、というふう



思われてしまう。

● うちらにとつては反原義も死刑反対も反天皇もみんないっしょで、根っこではつながってるんやけど：

■ そやから、ガサッが入ったとゆうても、そらあんたら別やといわれ、さらに「ガサッ」が入ったことでまた特別視されるーというふうやったから、天ちゃんのことでひとをさそったりなんかする時は、こっちも慎重になるし、なかなか大っぴらに、大衆的というわけにはいけへんかった。ただ、裁判やるときだけが大っぴらにできたけど。

● ところがこの「Xデー」状況の自粛さわざのなかで、様子が大分ちがってきた。東京で女たちが千人も集って反天集会をやったり、大阪でも9月末の段階でいち早く「天ちゃんなくてもえじやないか」のデモをやったのは、豊中で反原義なんかをやってる女たちやった。

■ いままで反天集会なんかには一度も頼を出さなかったような人たちが動き出しているのが目だつ。

● そんななかで、ハッキリと見えてきたんが、企業とマスコミ、そのマスコミとつるんでる評論家という文化人の役割やな。

■ タバコ屋やってる坂やんのはなしやけど、7日の朝の時すぎ、取次ぎをしている小森クリーニングから緊急電話があつて、日本社工場からの通達なのでー

① 電光看板のコンセントを抜く。

② 変電をつけて接客する。

③ お目出とをあいさつしない

④ 新春割引セールポスターをはがす ⑤ の実行を云うてきたとゆうんや。

それから神戸屋パン外交が、日会社から指示されてますので、明けて、のご挨拶は申し上げません。と新耳

あいさつにきたーというはなしや。

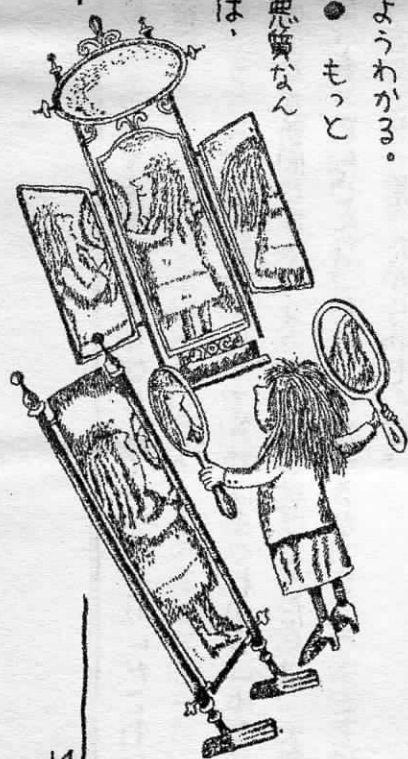
町通りの未旗出してるのをみても、天皇ムードは企業がつくってひろげてるーいうのが

ようわかる。

● もっと

悪質なん

は、



文化人やで。この前テレビで「私は天皇制に賛成でも反対でもありませんけど、八天皇制を云々するのなら、その前にまずその定義をはっきりさせとかないと、いま女の方があつちやつたような天皇の戦争責任なんとかいうような感情的な反討論は、まるで意味がありませんしなんて云いやるねん。

■ それ、「原發反討」に対して御用学者が使うのと同じや。

● そいつにゆうたれ。「アホいうな。おまえのつくった土俵でスモウとってどないすんねん。街頭で八元号まっ平成、天ちゃんいらん」と叫んでデモるのがうちのやり方や。くやしかったらアンタらもデモしてみい！」

■ ほんまに天皇制の「定義」なんて、立場で知も100もつくれるやろ。小田原評定が目に見えてる。まとまる筈がアヘン。

それを、かりにぴしっとつきつけたとしても、そのときもう反対でへんような状況になつてしまつたら、何にもならへん。やるのは今のうちや。今がチャンスやいうことを、メデーの三日間の情況がし、かり教えてる。

■ そうや。戦後40年間のなかで最大の、そしてもっとも大ぴらで表面にあらわれた「反天皇制」の意志と行動が、大衆的に生れひろがる実に絶好のチャンスなんやいうことを具体的に示してくれたんがメデーの三日間やった。これから大衆・大當衆とつづく敵側とるか、られるかの時間の中で、いまやらんでいつやるんやということや。

● そこで、さしあたつてこんどは2月24日の「大喪」の日、デモをやろうということになつてゐるんやけど、しかしこんどは8日みたいになうまくはいかんやろね。

■ 警察は8日のことをキツキツに統括して、こんどは先年先年規制してくるやろな。こっちとしては同じ手はもう使えん。

● ビーチと機動隊のタテにかこまれて、沿道の人にデモの様子がみえんように妨害もするやろし、もうフランスデモなんか絶対させへんやろな。

■ どうしたらええ

■ その日は「大喪」なんやから、明るく楽しくのびやかに、のどかでうれしい思いがあふれるような、それこそパツと花が咲いたような雰囲気のパレードがつくれたらエエ

けど。

● 8日には電が左右前後に自由自在に動いて大活躍したけど、こんどは目をつけられるかしれん。

■ 参加する各グループは、申し合せて出来るだけハデな色の服をきてくるとか、童謡のかえうたをつくってきて、それに「お遊ギ」のふりつけをしたのを各グループが持つてくるとかはどうやる。その競演パレード。

■ 夜のデモや、たら、一人一箇懐中電灯もってきて、グループをつくって大きく輪を描きながら歩くとか。

● カネやタイコ、笛など、鳴り物はぜったいにいるな。

■ 宣伝カーで丸九「歓喜」のテープを流して、それにあわせて手をつないでみんな踊るのもええな。

● ともかく、**⑤**がどうしようもないような新しいスタイルのパレードデモがつくれたら占めたもんや。

■ ま、「うねりの会」の事務局もきつと一生けん命考えて「提案」してくれるやろ。

ともかく、受身でなく、いまはどん



どんせめるチャンスやから、大胆に思いついたことを前日

までに出しあつて、当日は個々のそれぞれのおもいが発揮しやすいように互いにみんなが力を合さんとアカン。

● それと、24日のことだけやなしに、もっと小さなそれぞれの動きを、それぞれがやることやな。

たとえば、マスコミへの電話。まめに、ちよつと気付いたら、どんどんかけよう。何しろ町位まで二年間、毎日ガチャンスや。

(一ふうとこう)

~~~~~  
★ あーいっせ ~~~~~

▼ 2月8日(水) 福岡丁ヤツ訴訟 1時10分。二回もお休みしてしまつたので、この日はきつと行くつもり。

▼ 2月17日(火) 号外新聞が「国家賠償請求訴訟」

一回公判が大阪地裁午前10時ときまりました。(カ一回なのでほとんど形式ですぐ終る予定ですが)新聞をマニシヨンの一階集合郵便受けに入れたら「違送物不法侵入罪」というべら棒ながサ理由をやつけるためにも注目下さい。

▼ 2月28日(火) ガザ国賠サニ回 東京地裁午前11時

# 旭おぢや

▼12月5日(月) 関

西電力がナミビアウランを買い叩くことに對して電氣を一日々

ボイコットとして抗議の意志を表そうという呼びかけに依<sup>み</sup>て3日にその手続きに本社に行つて

きたんやけど、五日朝10時に職員がやつてきて「11時でしたね。11時にちゃんとこさせていただきますがほんとうに切つてもいいんですね」といふ。11時にカーンとやつてきて、またまた心配そうに「ほんとうにいいんですね」。

はじめは私も電氣を切る時はどっかよそにでも出かけてようかと思つていたんやけど、切つてみると、意外と別になんも困ることなかったんよね。これや、たら一週間くらいはできそうに思つた。三日目に遠方からひとが訪ねてくることになつたので丸二日でもめたけど、ほんまに「電氣がなくなつたらタイヘン」といふおどかしは、おどす方もおどかされる方もえらく深く信じ込まされていたということにあらためて気がつかされた。それと、この「電氣のボイコット」といふ新字の直接行動は、不払いして電氣を

切られるのとちがつて、こちら側から切らせるのやから気分がずつといい。切るもつけるもこっちの胸三寸というわけ。これからも大いに活用しなな。

▼12月11日(日) 豊中の大今さんたちが「天皇展」をやっているというので向井さんと出かける。行きながら向井さん曰く「どんなもんが展示してあるのかを觀にいくんやない、その志を觀にいくんや」。ほんま、この時期に、こんなことをするのは勇氣がいることなんや。

▼12月19日(月) 実電でおしくらまんじゅうした次の朝「下血」したので、原因をしらべるため腸のレントゲン。

▼12月22日(木) レントゲンの結果「なんもへんなもんはできとらんから安心しなさい」とと医者にいわれて、ホッとする。1月に直腸の検査を念のためにするけど、まあ大丈夫やるとのこと。

「下血」してからやつぱり心配で、こんどは腸ガンやなんて云われたらごないしよと思つとったんや。しかしまあ、これでひと安心や。?

▼12月21日(水) 軍事費拒否の会が





吉田智弥さんをよんで「空から恐怖の天皇制が降ってくる」という集りをするというので向井さんとでかける。和室の小っちゃなへやで二十人ちよっとの集りやけど、このメデー状況の中で各地でさまざまないろんな反天のあつまりがある。こんなことがってなかったことだ。吉田さんも、もうあちこちから呼ばれてるみたい。

▼12月31日(土) 新世界市場で買物して、帰って掃除をしてたら名古屋の「きのこの会」の中川くんがあらわれる。『反原発運動は今後どうなる?』という議論を三時間ほどやった。さて、どうなるかー。

▼1月1日(日) 新世界を散歩してウマさんに顔を出す。「いやあゆうべ朝まで徹夜ティーン見とったもんであの西部ナントカいう野郎、腹たちまん」とねむたそうな顔。で私も帰ってビデオで「これでいいのが日本・日本人」を6時間もぶっとおして観てしまった。観ながらつくづく「いち番やつけないあかんのは、こういう評論家・文化人やと鬼った。スタジオで最後までじっと聴いていた韓国人の女性が、「タイトルを、これでいいんだ日本・日本人にしたい方がよかったんじゃないですか」と云った。

さぞ腹わたが蒸えくりかえったやろな。

1月2日(月) いつもものメンバーの他に、鳥羽から下村さん石川さん、東京から帰ってきた岡本ちゃん、お昼から夜の11時すぎまで、飲んでしゃべって食べて。ただし、私はおしやべりだけ。ちよっとは食べたけど、よくガマンした。3日は向井さんと近所の飛田東映で「華の乱」を観る。大正時代のフニキがとてもよく出ている。大杉らアナキストがちよっといかにもいかにもというかんじで登場してくるんやけど、向井さんというと「うん、まあ、あんなもんや」とケロリとしている。

1月7日8日の日は本文に。

▼1月12日 直陽の検査。まあ痛いもの、て。でも異常は何もみつかりません。って。ほんまにこれでひと安心。肩の荷がおりたってかんじ。というて気を許してバカ食いたらア坎のよ。

▼1月16日(月) 釜の若い? おかあちゃんたちでつくっている「わたらの会」から死刑制度の問題について話してくれといわれて出かける。死刑制度も釜も、同じ差別の問題やねんなあー」とゆうてくれる。